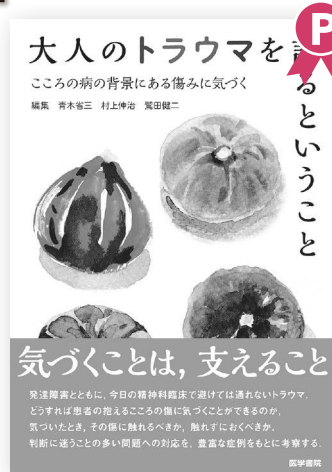


今月の特集関連本 ⑤

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.380) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



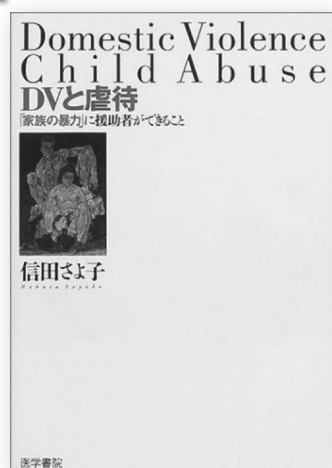
大人のトラウマを診るということ

こころの病の背景にある傷みに気づく

青木省三、村上伸治、鷺田健二＝編

本体 3,000 円＋税／A5 判・224 頁／医学書院／2021

幼少期の虐待やいじめの経験など、精神科患者はトラウマを抱えているケースが多い。そんなトラウマへの気づき方や対応のコツなどを解説する。精神科医が日常の外来で遭遇するような症例をとり上げながら、明日の臨床から参考にできるコツを披露する。発達障害とトラウマの関係についても詳述。DV などを含む「女性」のトラウマ事例とそのアプローチも多数紹介されている。



DV と虐待

「家族の暴力」に援助者ができること

信田さよ子＝著

本体 1,800 円＋税／A5 判・192 頁／医学書院／2002

なぜ虐待された子は親を慕い、殴られた妻は夫のもとに戻るのか？ この「当事者性の不在」という“謎解き”から始めないかぎり、援助者は家族の暴力に太刀打ちできない。「味方になる」「第三者を登場させる」「数と時間の効果」などの魅力的な概念を駆使して贈る、まったく新しいアプローチの数々。不朽の名著！